



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2021年(令和3年)6月5日号

No.1860

目次

■ 日ロ極東医療協力フォーラム	1
■ 新型コロナウイルス感染拡大に関するロシアの対応	ROTOBOモスクワ事務所 9
■ 統計速報	21
2021年1～3月のロシア経済と鉱工業生産	／21
2021年1～4月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績	／25
2021年1～4月の日ロ貿易	／26
■ キーパーソン	28
エシムベコフ新駐日カザフスタン大使就任	／28
■ トピックス	29
ロシア向け航空便新配送サービス導入	／29
OPECプラス、7月まで減産緩和維持	／29
NIS諸国の新型コロナウイルス関連ニュース	／30

日ロ極東医療協力フォーラム

はじめに

2021年5月26日(水)、ロシアNIS貿易会では、ロシア沿海地方政府と共同でオンラインイベント「日ロ極東医療協力フォーラム：日ロ間の医療ネットワーク構築に向けて」を開催した(日本医療機器産業連合会、日露医学医療交流コンソーシアムにいがた、環日本海経済研究所が後援)。本フォーラムには、日ロ双方から約160名(日本側から約90名、ロシア側から約70名)が参加、ロシア側からは沿海地方、ハバロフスク地方の他、サハリン州、アムール州、サハ共和国など極東連邦管区の多くの地域から医師、大学、行政関係者が視聴した。

COVID-19の感染拡大が続く中、感染症対策や予防医療など医療分野での国際協力の意義が改めて問われており、日本とロシアもその例外ではない。現在、ロシアで日本の医療機関や企業が参加する医療事業の取組みとしては、極東連邦管区のウラジオストクにおいて画像診断センターとリハビリテーションセンターが開業している他、ハバロフスクでは、日本企業がロシア鉄道と協力して日露予防医療診断センターを設立すべく準備を進めている。

本フォーラムでは、現在、ロシア極東地域において日ロ共同で取り組んでいる医療事業の事例やロシア極東の地域行政や大学間での協力の取り組みの紹介を行った。本号では、その報告要旨をご紹介しますこととしたい。